

2019年

34号

大芝社協だより



<編集・発行> 大芝地区社会福祉協議会広報部 <印刷> サンヨーメディア印刷株式会社

地域の連帯強化を



大芝地区社会福祉協議会 副会長
塩出 優

大芝地区の皆様こんにちは。平素より「大芝地区社会福祉協議会」の活動にご支援ご協力いただき感謝申し上げます。

平成30年5月から副会長として活動に参画させて頂いています。今日まで一町内会長として、色々な会合に出席している中で、各町においても、様々な悩み課題があることを痛感しています。少しでも活動の盛んな町を参考に課題を克服していければと考えています。

社協会則の目的である「大芝地区の住民の生活向上及び地域の連帯と発展により、活力と思いやりのある町づくりと地域福祉の推進を図る」の実現に向かって微力ながら頑張っ参ります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

体育部

部長 坂川 武彦

ソフトボール部頑張りました



平成30年5月27日に第38回西区区民スポーツ大会が開催され大芝学区ソフトボール部が優勝しました。上位チームは、10月14日に開催された広島市スポーツレクリエーションフェスティバルに出場することになりました。

そこでも数いる強豪に打ち勝ってまたもや優勝しました。優勝カップは西区役所の1階ロビーに展示していただきました。また県の大会でも優勝しています。頑張りましたね。おめでとうございます。

健康長寿部

部長 安井 文昭

健康長寿部の活動



大芝長寿大学では平成30年度、全七回の講座を開催いたしました。・第一回 お笑い一人芸・第二回 見直そう!水分補給・第三回 いろは体操で体づくり・第四回 幕末維新とはどんな時代か?・第五回 笛でひもとく日本の芸能・第六回 冬に気を付けたいインフルエンザ・第七回 ヴァイオリン二重奏によるミニコンサートです。毎回70名を超す受講者で盛況裡に終わることが出来ました。また恒例の親睦グラウンドゴルフ大会も5月と10月に行われ晴天に恵まれ和気あいあいのうちに終了できました。

11月には小学校PTAまつり、1月には1年生へ昔あそびの指導にも協力しました。



大芝一丁目主催・大芝二丁目協賛

餅つき交流会



平成30年12月9日、年末恒例の行事「三世代交流の餅つき」を大芝集会所に100人(内子ども半数)が集い開催しました。

1丁目・2丁目の役員が早朝より準備、先ずは薪で湯を沸かしつつ、皆で餅つきの体制を整えます。その後、三世代が協力して餅つきをしました。「ぺったん、ぺったん」威勢のいい音で搗きあがった餅を丸める・ほうばる子、三世代が一同に会して伝統文化の伝承が出来ました。焼き芋も、焼け具合にばらつきはありましたが好評でした。また、餅つき後の交流会にも多数参加頂き親睦を深めました。

当日は晴天に恵まれ、事故もなく楽しい体験をしてもらいました。「餅つき交流会」開催にご協力いただいた皆様に心より感謝お礼申し上げます。こうした活動を通じて子どもたちが、地域で良い思い出を創り、大人になったら実戦してくれることを熱望しています。



大宮二丁目町内会 大宮二丁目町内会 会長 桑本 義弘

わが町の防災マップ



2018年は平成最後の年でありましたが、わが国では残念ながら大きな災害が次々起こりました。4月に島根県西部地震、5月に大阪府北部地震、6月29日からの台風7号による豪雨、そして7月6日西日本豪雨災害で甚大な被害、9月に台風21号による関西空港の被害、特に連絡橋にタンカーが衝突する前代未聞の事態に見舞われました。2日後にも北海道胆振東部地震が起こり大きな被害が発生しました。早急な完全復旧を願うところです。



大芝地区では大きな災害はありませんでしたが、町内会の防災意識を高めるため、6月「わが町防災マップ」作りに取り組みました。自分たちに住む町の避難所はどこ？危険な場所はどこ？また災害時に役立つ店や施設はどこ？広島市防災士ネットワークの方々の指導のもと14名が図面に記入しながら町内を歩き下地を作り7月作成した各戸に配布しました。

楠木町四丁目町内会 楠木町四丁目町内会 会長 松木 稔

好浄心(こうじょうしん)

新しい年を様々な場所で迎えられたことと思います。平成の時代も余す所2か月余りになりました。こんなことを思いながら社協だよりの原稿を書いています。この原稿を書くときに登山家の三浦雄一郎さんが登頂を断念したニュースが報道されてきました。常に上を見据えたチャレンジ精神には、驚かされ勉強になりました。私自身も、現役時代には向上心を漲らせて、世界の頂点の料理を見据えていました。今の私は町内の一番でもありません。



好浄心で探求してみて、崇徳高校のグリーンクラブに興味を持ち、その内容を知りたく思いお願いして、楠木会館での披露を実現しました。「いきいきサロン」の皆さんの前で、新鮮で清らかな4部合唱、力強さ、若々しい響き、真剣に取り組む力、私ども高齢者にとっては、感動、感動を全身に浴びて笑顔があふれていました。これは町内の頂点でしょう。自慢してよい。まさに好浄心でしょう。

皆さんが笑顔になれる行事を取り組んでいきたいです。

新庄町町内会 新庄町町内会 会長 米崎 一郎

子ども神楽



平成30年11月23日(勤労感謝の日)午後1時から、毎年恒例の「あおぞら子ども神楽団」の神楽の上演が新庄集会所において、町内会主催でありました。演目は「悪狐伝」「鈴鹿山」でした。



大勢の観客の前で懸命に演じている子ども達(小学生、中学生主体)の見事な演技に、皆さん大きな拍手をしていました。

新庄町町内会では毎年上演して頂いております。集会所という狭い場所ですが、すぐ目の前で神楽が見られるいい機会ですので、町内の方はもちろん町外の方も沢山来られています。無料ですので是非皆様も誘い合わせてお越しください。

三篠町二丁目東町内会 三篠町二丁目東町内会 会長 塩出 優

亥の子祭りを行いました

平成30年11月3日、恒例の亥の子祭りを行いました。

三篠神社の野上宮司様に來ていただき、亥の子祭りの神事を行い由来をお聞きした後、約50名(子ども約30名)で元気な掛け声のもと町内を回りました。



伝統行事が今後も続けられることを願っています。

楠木町三丁目町内会 楠木町三丁目町内会 会長 国保 典昭

町内を元気に

私たちの町内では、健康増進にグラウンドゴルフが盛んです。月曜から土曜まで陵北公園で行っています。大体10名前後の参加者ですが、皆さん元気に競技しておられます。もう一つが「いきいきサロン」です。参加者は20名位ですが、楽しく動き、お喋りをして2時間を過ごします。今年をもっとサロンに力を入れようと思っています。登下校児童の見守りも町の重要な活動です。



また、町の三大大行事として、盆踊り・秋祭り・亥の子祭りがありますが、去年は7月の豪雨災害の影響で盆踊りは中止になりました。今年は盛大にできることを期待しています。体育部・子ども会においても町の行事によく協力してもらっています。

毎年のことですが、町の一年間の無事安泰を一番に思っています。

三篠町三丁目町内会 三篠町三丁目町内会 中津 健治(防災士)

わがまち防災マップ



三篠町三丁目町内会の「わがまち防災マップ」づくり活動について紹介させていただきます。

「わがまち防災マップ」は、地域住民自らが町歩きを行う中で発見した危険箇所、避難スペース、避難ルート等をマップ上に記載したものです。このマップは町内全戸に配布し、いざという時に役立つツールとして保管、活用して頂きます。



マップを作成する際は、町民参加型のマップ作りにするため、役員だけでなく町内の組長さん全員に参加を呼びかけました。当日は西区町おこし推進課、広島市防災士会の協力のもと、町内からは組長さん、町内会役員20名が参加し、2班に分かれ2時間かけて危険箇所等を確認しながら歩きました。その後集会所に集まって、マップに記載する重点か所を選定しマップを完成させました。

参加頂いた皆様からはこれまで気づかずにいた危険箇所が判ってよかったという意見を頂き有意義な活動であったと感じています。来年以降は、毎年交代する組長さんと一緒に「わがまち防災マップ」を持ち、町歩きをすることを計画しています。

三篠北町町内会 三篠北町町内会 会長 島津 俊紀

認知機能の改善「花活」に期待



「花活」とはフラワーアレンジメントの一種で手順に従い花器のなかに置いた、丸や三角形の切り込みの入った専用のスポンジに花を生けるやり方です。三篠北町町内会の女性会が昨年4月から毎月一回開催しています。



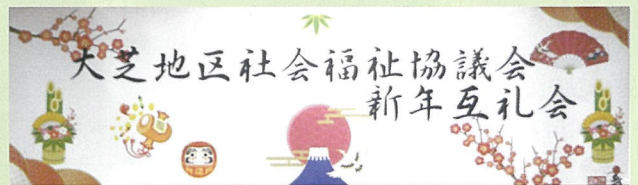
- 子供から高齢者まで手軽に楽しめる。
- 脳の活性化やストレス軽減に効果がある。
- 定期的に楽しむことで、認知機能の改善が出来る。

以上の効果があるとの検証結果を、広島・島根両県の花き業者たちでつくるグループが導き出しました。

広島県の花き業者や園芸福祉士たちが平成15年から、各地の福祉施設などで講習会を開いています。

竹原市港町の瀬戸内デイサービスセンターで昨年9月から11月まで検証を実施。70歳以上の17人が月一回のペースで計3回「花活」を楽しみ、認知機能を測る筆記テストの結果、花活の体験前に比べ7割のお年寄りが、認知機能の上昇もしくは維持できたとの報告があったそうです。

三篠北町町内会が毎月一回開催している「フラワーアレンジメント教室」も回を重ねるごとに参加者も多くなり喜んでいる次第です。



平成31年1月17日、恒例の新年互礼会が、各町の三役58名と福岡美鈴西区長をはじめ12名の来賓の方々が参加して下さり盛大に行われました。新年度もお互いに頑張ろうと確認しました。



ふれあいいいききサロンだより

大宮一丁目

福祉推進委員 雲津 寛幸



【11月】
「笑って笑って脳トレゲームで若返り」

効果的な3つのこと

1. 笑う
2. しゃべる
3. 読み書き計算

以上をうまく取り入れ、唄・じゃんけん・体操など脳みそフル回転で楽しいひと時を過ごしました。



【12月】
「年忘れふれあい・いきいき餅つき大会」

当日世話をする人は午前7時に集合、9時から参加者順次集合。子ども達は交互に餅つき開始。幼児からお年寄りまでたくさんの方が参加されました。

毎週金曜日の「大宮一丁目百歳体操」は初めて1年になりました。

三篠町三丁目

福祉推進委員 藤井 崇子



年間6~7回開催しています。楽器の演奏を聴いたり、一日旅行に出かけたり、講演会で話を聞いたり、軽い体操やゲームで体を動かしたり、楽しい時を過ごしています。

手芸クラブ

大宮一丁目手芸クラブ会長 西村 陽子

手芸クラブです



「大宮一丁目手芸クラブ」は、私がふれあいいいききサロンで手芸をしたことから始まりました。しかし手芸となると男性の参加は役員以外なく、一方で手芸なら行きたいという女性の方もおられました。そこで町内会から

の助成金を得て、サロンから独立した活動をすることにしました。基本的にサロンのない月に、年6回手芸を楽しんでいて、丸3年たちました。私が作るものを決め、その都度希望者を募って会費をいただき、2時間で作品が完成するように準備しています。

毎回、和気あいあいとした雰囲気の中で、皆さん手芸を楽しんでおられます。同じ作るのならば自分で使ったり飾ったりしたいと思うような作品を作ることを目指し、次は何を作ろうかと思案を重ねています。

一月の会では「つり雛」を作りました。それぞれのパーツの柄を各自が選んで作り、最後に顔を描いて、個性あふれるお雛様が出来ました。

編集後記

そういえば、この34号で平成が終わるのですね。昭和64年1月8日。1泊の人間ドックで検査の合間に、年号が平成に変わった報道がされていたのを思い出しました。平成の31年間の情報伝達の変化発達はものすごく、戸惑うばかりです。ロートルに鞭打って何とか発行の運びとなりました。快く原稿を書いた皆さん本当に有難う。

広報部長 小滝 凡夫 副部長 塩出 優

ご意見ご感想をお待ちしています。

小滝(おだき)まで(082-237-9336)連絡ください。

